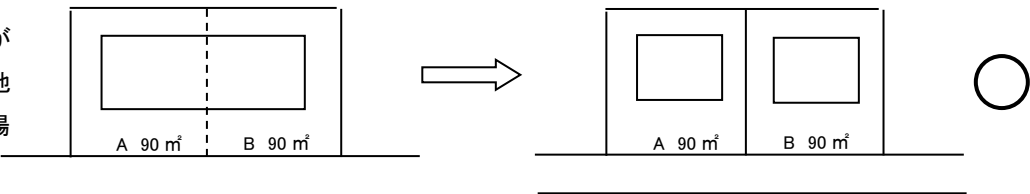
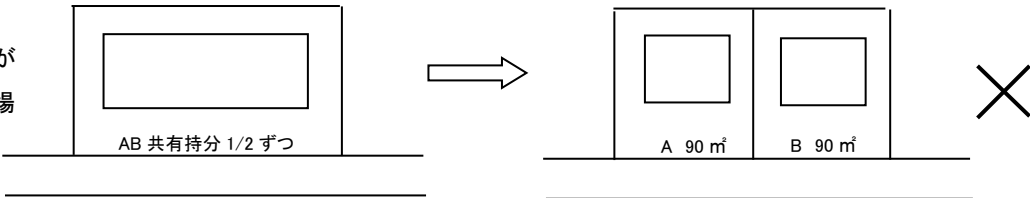
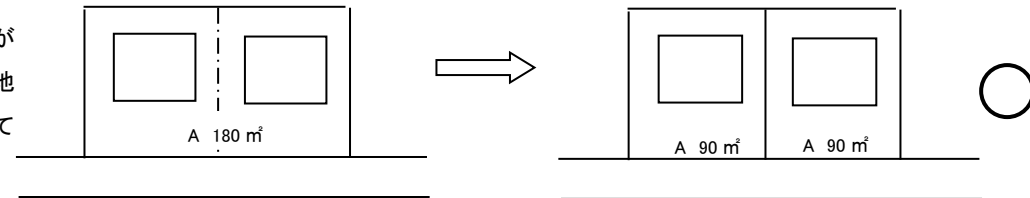
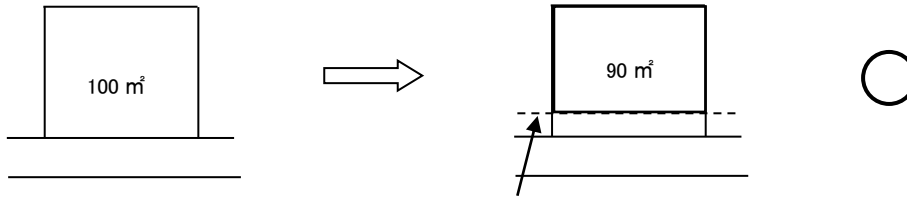


最低敷地面積について	該当 条文	法第53条の2、 区地区計画建築制限条例第6条
最低敷地面積の規定値を満たしていない敷地の取扱い事例		
□ 内 容 最低敷地面積が100㎡の場合、以下のような敷地に建築は可能か。 例1 建築物の敷地が 複数の筆の土地 にわたっていた場 合 基準日以前  基準日以降 A 90㎡ B 90㎡ A 90㎡ B 90㎡ 例2 建築物の敷地が 共有持分だった場 合  AB 共有持分 1/2 ずつ A 90㎡ B 90㎡ 例3 建築物の敷地が 基準法上別敷地 として使用されて いた場合  A 180㎡ A 90㎡ A 90㎡ 例4 公共公益施設等の 整備により敷地が減 少した場合  100㎡ 90㎡ 公共公益施設等の整備		
□ 取 扱 例1：『b既に土地の権利上分けられていた土地』の既存不適格となる。建築可能。 例2：共有の場合は土地の位置、形態が明確に分けられていないため、既存不適格ではない。建築不可能。 例3：『a既に建築物の敷地として利用されている土地』の既存不適格となる。建築可能。 (※区審査基準3-53の2-1参照) □関連資料		